



ミライ design オリエンテーション

2021.4.9.Fri

10年後の自分の姿
想像してみましよう。



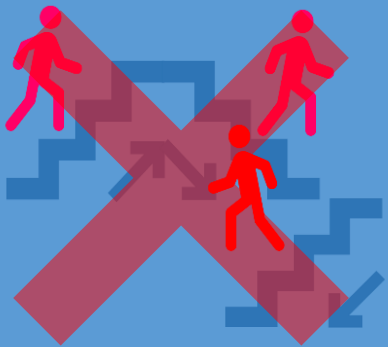
Society 5.0





同じ会社・団体に勤め続ける人もいれば、会社・団体が変わる人もいる

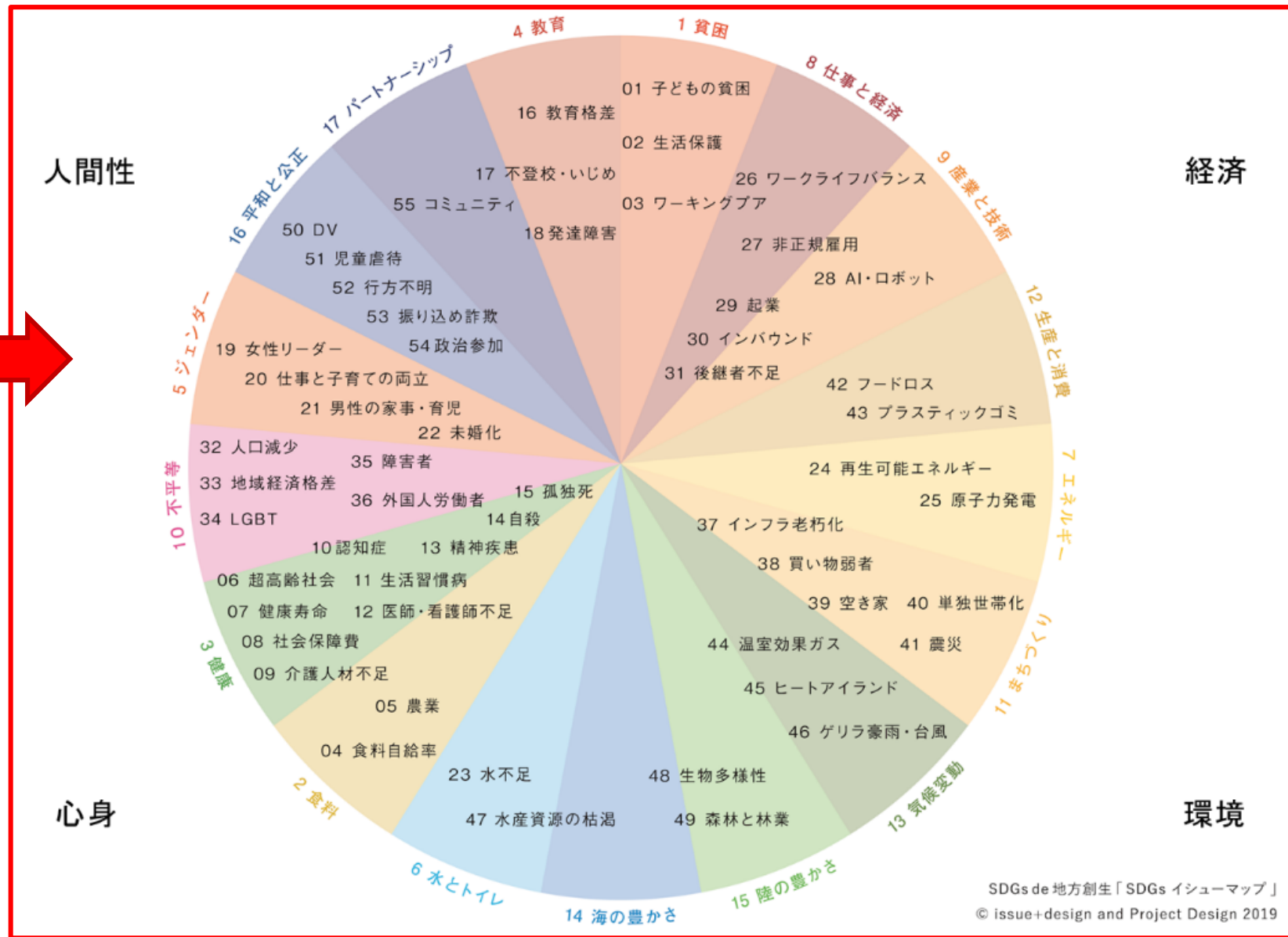
ひとつの会社・団体に所属して働く人もいれば、複数の会社・団体に所属しながら働く人もいる



働くなら楽しく前向きに働きたいですね。後ろ向きに働かないためにも常に**学びが必要**



SDGsの17のゴールを円状に整理し、ゴールに対する55の社会問題を整理したもの



社会基盤や産業基盤におおきな変革をもたらすといわれる28のテクノロジー



Q. 現在の社会課題をテクノロジーの力で解決するためのアイデアを考えよう

社会課題はSDGsイシューマップから選んでも選ばなくても構わない。自分の決めた社会課題に対して、どのエクスポネンシャルテクノロジーを活用してどのようなミライを描きますか？
思いつくままに書き出しましょう。

例えば...



課題

フードロス問題



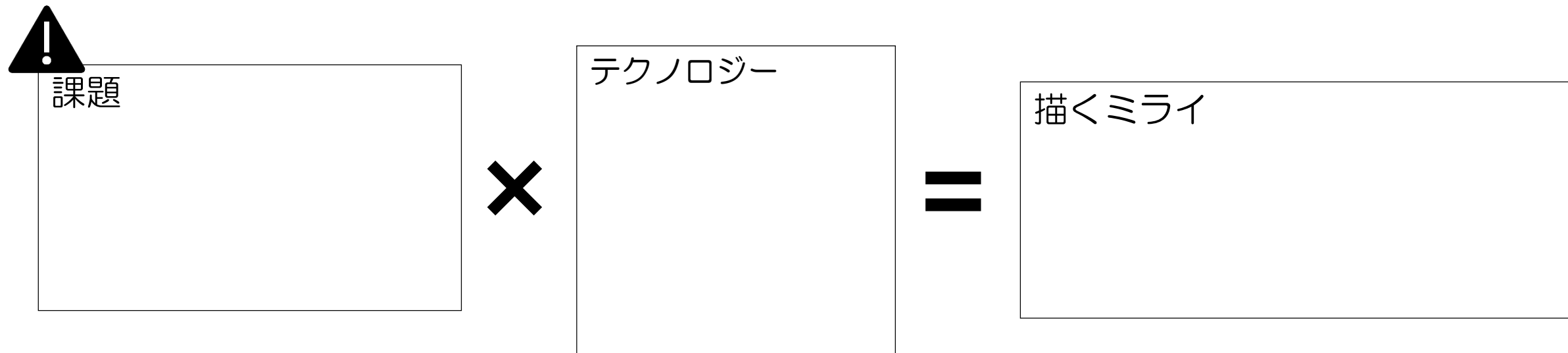
テクノロジー
自動運転車



描くミライ

自動運転車が、売れ残りや品卸できなかった商品を、直接消費者へ届けることができる。

アイデアを共有してみましょう



テーマ

「持続可能な社会とそれを担う自己の未来を描き、行動する」

目標

- ・ 持続可能な地域・世界・社会の未来を描く
- ・ 未来を担う自分自身の未来を描く
- ・ 描いた未来に向けて、現状の自己分析から課題を定め、行動する



3年間の探究学習のテーマ

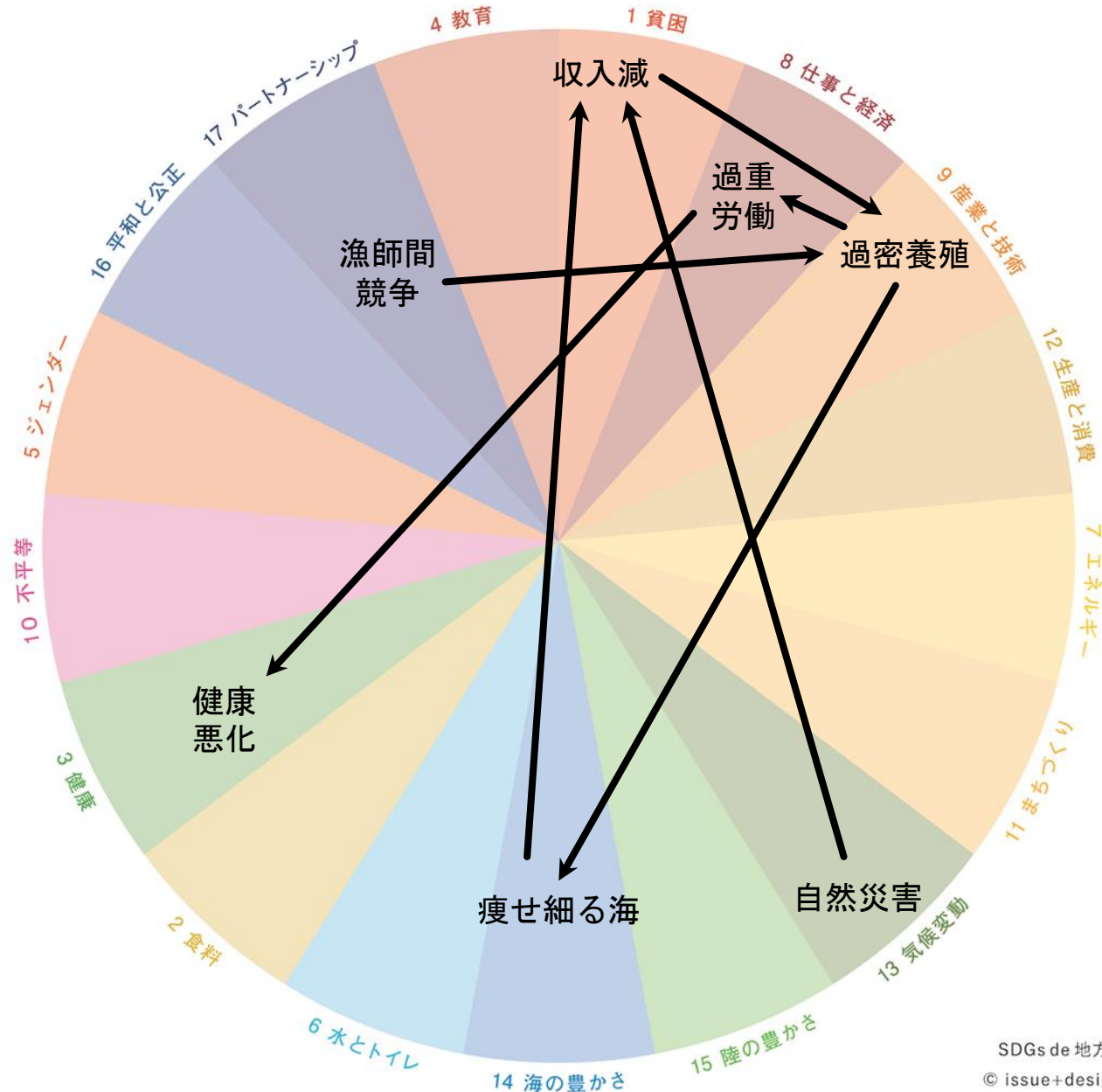
未来に向けて新たな価値を共創する!!



南三陸町観光協会HPより

<https://www.m-kankou.jp/page-204357/page-204682/>

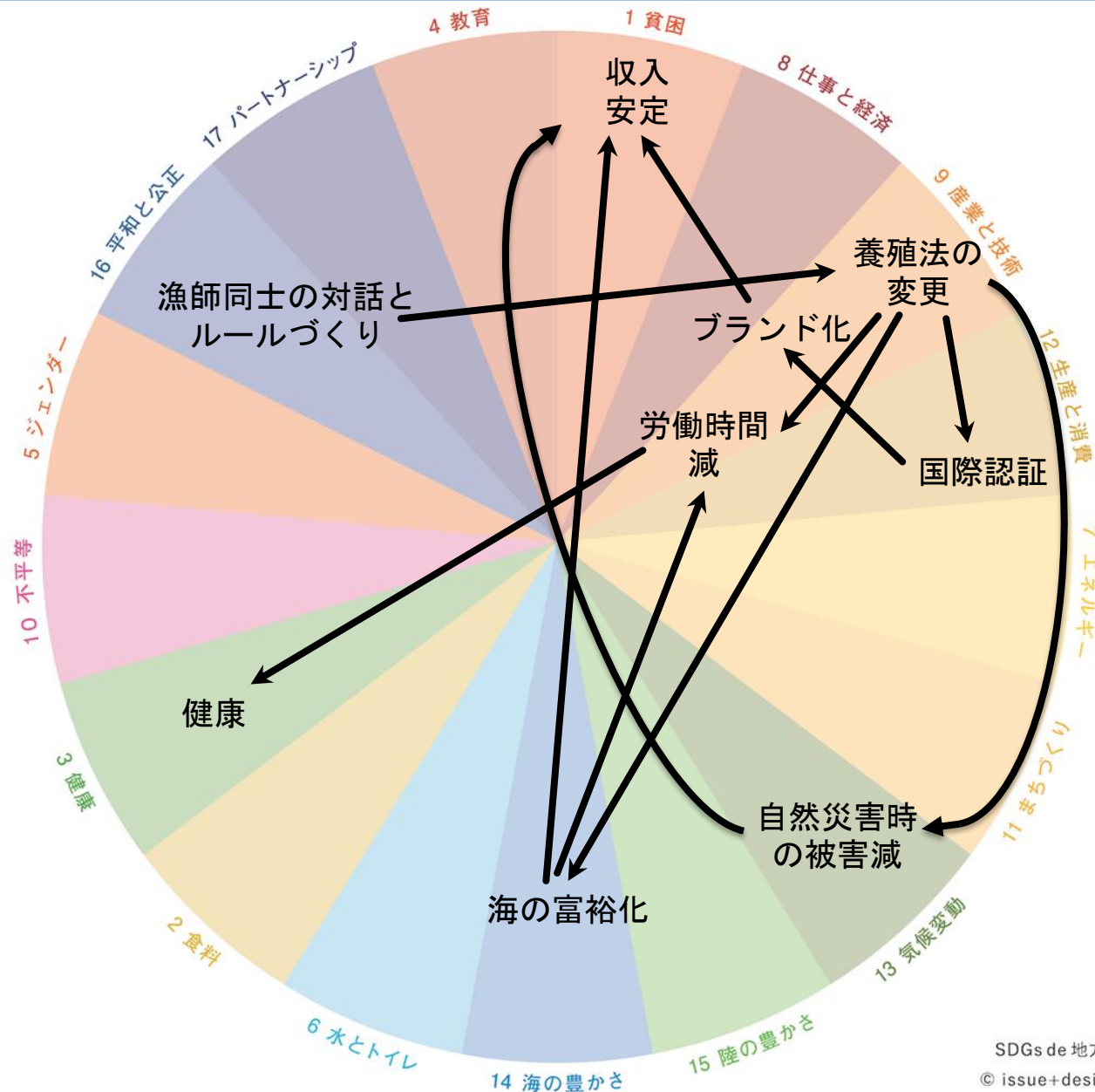
価値創造の例～南三陸町の話

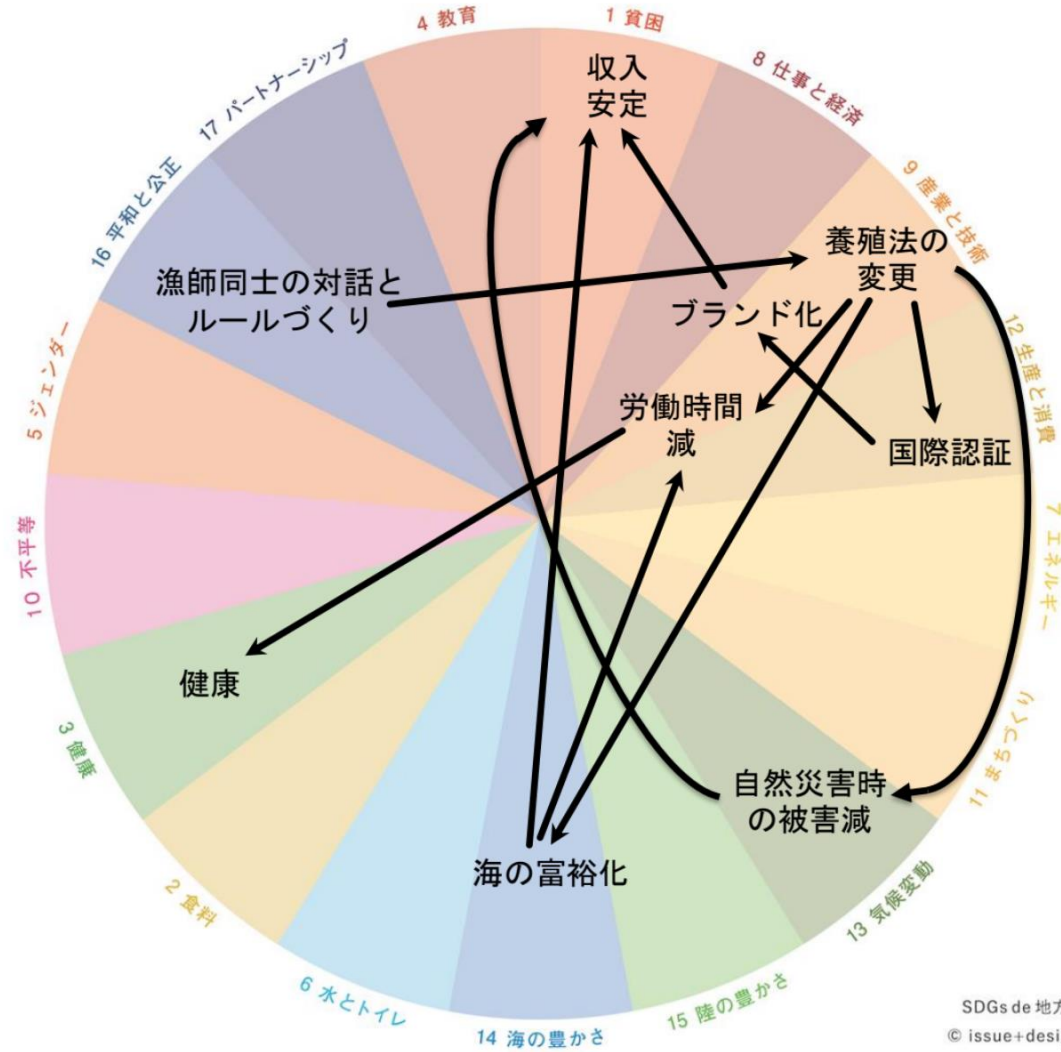




南三陸町観光協会HPより
<https://www.m-kankou.jp/page-204357/page-204682/>

価値創造の例～南三陸町の話





SDGsの目標は互いに繋がっている

2021年度 3学年総合探究

ミライdesign構想(案)

Stage1 4月～6月	時数
オリエンテーション	1
テーマ別講演会事前学習	1
テーマ別講演会	2
テーマ別講演会振り返り	1
ミライの兆しから自分の未来を想像する①	1
ミライの兆しから自分の未来を想像する②	1
校外リサーチ・アクション計画	1
校外orオンラインリサーチ・アクション(予定)	2
時数	10

Stage3 7～9月	時数
仕事×ミライ図鑑作成	5
ミライdesignクラス発表会	2
ミライdesign全体発表会	2
ミライdesign振り返り	1
時数	10

Stage3 9～12月	時数
活動報告書の作成	8
探究学習の振り返り	1
時数	9
時間数	29

ミライdesignの活動が、大学受験の志望理由にも繋がる!!

テーマ別講演会

業種・職種別に分かれて、社会の中で働いている人に、「働くこと」について語ってもらい、**ミライの社会を共に想像**する。

ミライの兆しから自分の未来を創造する

自分の目指す職業や現在の社会問題など自由な切り口で職業に就いて調べ、ミライの働き方について考えてみよう。

現在の社会や仕事の理解を深め、**ミライに対し仮説を立てよう**
どんな職業人と対話をしてみたいですか？

リサーチ・アクション

その仕事のやりがい、社会のどんなことに貢献しているのか、SDGs、今後の働き方の変化はあるか…オフライン・オンライン問わず話を聞いてみよう。

社会の多様性を知ること、これからの生き方・働き方をより深く考えることができるはず…

仕事×ミライ図鑑の作成

自分が調べたミライの兆しやリサーチ・アクションの取材結果をまとめ、みんなで集めて図鑑にしよう。

働きかた想像×創造

これまでの高校生活とミライdesignの学習を踏まえて、将来どんなミッションをかかげる？ **マイSDGsアイコン**を設定してミライを描こう!!

まとめと発表

仕事×ミライ図鑑と描いた君たちのミライの姿を共有しよう!!

仕事×ミライ図鑑

3 年 8 組 番 名前

「教師」について

仕事の概要 4歳の高い教育をみんなに

各専門教科の授業を行うほか、生活指導やクラブ活動の指導、学校行事の運営などを行う。生徒一人ひとりの個性を尊重しつつ、進路や人間関係などに不安を抱える生徒たちに心のケアを行うことも大切な仕事である。担任を持った場合は一年かけて一つのクラスを見守っていくことになる。また、副担任としてクラスに替わるケースもある。中学校と高校では、授業は科目ごとに変わるため、担当するクラス以外も受け持つことになる。事務作業も多く、教材の準備やテストの作成、保護者との相談などは、生徒が登校する前後の時間に行うことが多い。勤労時間が長くなる傾向にある。登校期で精神的に不安定になりがちな生徒のよき相談相手となり、学校生活をサポートしていく役割も担っている。

この仕事のミライの兆し（ミライ仮説）

コロナウイルスによる休校期間を経て、オンラインでの勉強が進捗に普及していったことで、勉強は学校休みでもできてしまうということがわかり、学校そのものの価値が減ってきている現状があるため、学校と繋がることが勉強するための場所から人と人とのつながりを大切にしたり、社会に出るための人と人との関係性の築き方を学んだりする場所へと変わっていくと思う。教師もこのような学校の存在意義の変化に対応することが求められるので、勉強を教える専門的なスキルだけではなく、生徒一人ひとりの違いを伸ばし、教師と生徒、生徒と生徒などのコミュニケーションを大切にしている人材が活躍していくと考ええる。また、オンラインでの学習の普及や、探学活動の比重の増加により、総合学習などで、学校外の様々な職種の人とオンラインで対話することが増えていくと思う。

仮説検証～取材調査結果～

新南高校の校長である荒井優さん私も同じ考えを持っていた。コロナウイルスにより、学校そのものの価値が減ってきていることや、学校は人々をつなげていく力が強く、時代が変わっても学校は人と人をつなげていく場所であると話してくださり、荒井さんが単日本大進学後に実業の中高生に「学校とは何か?」と質問をした際、「好きな人がいるところ」と言う回答に感動し、学校の大切さを再認識したことも話してくださった。この話から、学校は勉強するためのところだけではなく強く感じ、今回のコロナウイルスの休校により、さらに学校の存在意義はコミュニケーションを学ぶ場所へと転換していくと思うし、していかなければならないと思った。また、tomonasu合同会社のCEOとして、高校生が学校外の人と出会うオンラインスクールを設立している堀本美介さんは、オンラインでの対話を通して知らない仕事を知る機会を設け、高校生が将来の夢を持つ手助けをしていると言った。堀本さんは、出会いや経験などが将来の夢を持つきっかけになるとおり、職種からではなくどんな人種になりたかの方が大事であると話してくださった。このことからたくさんの人には会えることが大切であると考える。オンラインでたくさんの人と対話する機会が増えていくだろうと思った。

自分のミライについて

マイSDGsアイコン 4歳の高い教育をみんなに

マイアイコンの理由

発展途上国などの学校に行けない子どもの中には、学費が足りなくて中絶や離れた国に留学している子どももいると聞き、学校に行かない子どもたちもそれぞれの個性を生かすことができるような高い教育が普及してほしいと思ったから。また、コロナウイルスによる急行期間の長さの違いによって日本国内でも地域によって学習進度の差が生まれていたり、オンライン学習の対応や設備の違いによって勉強の質の差が生まれていたりするので、そこは各自自治体が行方々に解決しようとするのではなく、国全体で協力して差を埋めていかなければならないのではないかと考え、働くことや生きていくことに生かせるような「教育」という意味も持っていると考え、将来海外に出て活躍できるような広い視野を持つ人材や地域の身近な問題を解決するべく柔軟な発想のできる人材など、変化の大きな今の世の中でしっかりと対応でき、働いて生きているような人材を育てていく教育が必要になってくると思うから。

描く自分のミライ

まずは自分1人からでも質の高い教育ができるように、社会科の教師となって、生徒が幅広い視野を持てるような教育していきたい。そのため大学では既存の教科書にとらわれないことと、世界の教育も目指しながら、教育や社会を学んでいこうと思う。教師にならば、教師からの一方的な講義型の授業ではなく、グループワークなどを取り入れてインプットとアウトプットの両方ができるような授業をしたい。例えば、地理の授業であれば写真や動画を見せその国の特徴を話したり、歴史の授業では昔の記憶に残る授業を目指したい。

その時々や世界のニュースも取り上げて生徒同士で意見交換などをし、世界の問題や政治などに興味を持ってもらえるような授業にしたい。また、これからの世の中でしっかりと生きていける人材を育てるために、将来の夢ややりたいことを学校生活の中で見つけられるようにしたいと思う。そのために学校での出会いや経験の幅を増やしていくべきだと考えるので、オンラインで学校外の人と対話する機会やボランティアやインターンシップなどを経験する機会を生み出したりしていきたい。物として学校内に生徒に教えると同時に、学校外に出てセミナーなどの対話の場に参加し、自分も教わらないながら成長し続けるような教師になりたい。

また、学校は生徒にとってより良い場所になっていくべきだと思うが、同時に、教師にとっても働きやすい場所になっていくべきであり、学校は教師それぞれが目標や教育を実践できるような場所であるべきだと思う。変革というものは、1人の方ではできないものではないし、受け入れられないことがあるかもしれない。まずは自分が突破口となり、自分の考えを周りに伝え周りを巻き込んで、仲間と共に「群」として活躍していきたい。

仕事×ミライ図鑑のイメージ

社会人との対話や調べたミライの兆しから導いたミライの自分のミッションを語る。

活動報告書の作成

これまでの探究活動を振り返り、形にして自分を語れるようにする。

面談・志望理由書作成など 各自の必要な取り組み

これまでの探究活動を振り返りながら、必要な形式にして表現する。

理想の看護師像

豊かな知識と技術
認定看護師
チームワーク

療養環境
精神的ケア
親族ケア

信頼される
看護師

札幌市立大学での学び			
授業・実習	研究	地域連携	その他
1年次からの手厚い看護実習 デザイン学部との連携	「患者さんのストレスに対する環境づくり」	スタートアップ演習 学部連携演習	アウトドアサークル まちづくりボランティア

ホストファミリー

高校一年生のときに、ポートランドからの留学生を受け入れるホストファミリーを経験しました。なぜホストファミリーになろうと思ったかという、以前から外国人の方と交流し、異文化交流をすることで自分の価値観を広げることができ、自分の短所である人見知り克服する第一歩になると思ったからです。

初めは、お互いに緊張して、あまり話すことができませんでしたが、一緒に料理をしたり、家族と一緒に動物園に行ったりすることで日本の文化を知ってもらうことを通して、とても仲良くなることができました。今でもSNSで連絡を取り合うことができ、自分の視野を広げるとても貴重な体験をすることができました。

MSP(藻岩×南区スマイルプロジェクト)

MSPとは、地域を笑顔にを目的に、グループごとに南区にある団体・企業にフィールドワークに行き、インタビューして課題を考えその解決案をつくり検証したものをプレゼンするという学習です。

私たちのグループは南区藤野にある田中果樹園さんにインタビューさせて頂きました。わかった課題は、田中果樹園の存在を上手く宣伝できていないということです。そこで、「藤野に人を呼び込むために」をテーマとして、まずは果樹園をさらに盛り上げるためにできることを考えました。私たちのグループが果樹園を盛り上げるために考えたことは、ケーキ屋と提携して、果樹園の果物でスイーツを作るということです。スイーツを作ると、若年層の人が SNSで果樹園の存在を知ることができると考えました。

さらに、定山溪温泉と提携して、チラシや割引券を配ってもらうことです。そうすることで、温泉を目的に定山溪を訪れた観光客が果樹園に興味を持ってくれると考えました。以上のことを田中果樹園さんに提案しました。

ミライdesign

仕事×ミライ図鑑

3年 2期 11巻 巻名 河合 桃果

「看護師のミライ」について

自分のミライについて

マイアイコンの理由

働く自分のミライ

他者との協調・信頼関係

豊かな感性と探究心

地域貢献

生命の尊厳の理解

自主性

ミライdesignの時間は高校卒業後すぐの進路やこの先の生き方・働き方に直結している

皆さんのマイSDGsアイコンはどれですか？



みんなのdesignが世界を変えるかもしれない